

山崎ひろし

声をかに!!
行動力!!

県政レポート

発行：山崎ひろし事務所 〒510-8037 三重県四日市市垂坂町883-5
TEL 059-333-3206 FAX 059-333-3206

現在の役職

- 医療保健子ども福祉病院常任委員会 委員
- 差別解消を目指す条例検討調査特別委員会 副委員長

2020

vol.03

PREFECTURAL
GOVERNMENT
REPORT

予算決算総括質疑にて質問いたしました《令和2年10月28日》

右のQRコードから
予算決算常任委員会
(令和2年10月28日)
動画をご覧いただけます。

外郭団体の見直しについて

Q [質問]

コロナ禍の中で、先行きの不透明な日本経済の中で、個人消費が落ち込み国内での景気が低迷しております。令和2年7月、内閣府からの景気動向指数に基づく景気判断によりますと、悪化機関はリーマンショック前後の11ヵ月を上回り、過去最長を更新したと報告がありました。三重県として、財源不足を解消するために三重県内外郭団体等の見直しについてご説明をお願いします。

A [答弁]

平成27年度末まで集中的な見直しに取り組み、その後も引き続き見直しに取り組んだ結果、令和2年4月1日時点で、団体の在り方の見直しについては、18団体すべてについて見直しが完了しました。

また、県関与の見直しについては、例えば、職員派遣の見直しにおいて、令和2年当初時点において20名の職員派遣を削減し、見直しが必要な9団体中6団体について見直しが完了しました。引き続き団体の見直しを進めているところです。

Q [質問]

三重県から補助金の支出や損失補償・債務保証を実施している外郭団体について、今後の方向性をお聞かせください。

A [答弁]

委託・補助金等の見直しについては、平成27年度までに見直しが必要な9団体すべてについて、見直しが完了しています。現在、団体への財政的支援については、毎年度の予算編成を踏まえ、必要最小限の支援にとどめています。

今後も、県からの自主・自立を促し、財政的支援が必要な場合でも、必要最小限の支援となるよう、毎年度の予算議論を通じて見直しを図っていきたく考えています。

Q [質問]

具体的に三重県土地開発公社・(公・財)三重県建設技術センター・(公・社)三重県観光連盟についてのお考えを聞かせていただきたい。

A [答弁]

三重県土地開発公社については、公共用地等を先行取得するための資金貸付金について、定額から活用見込みや運用実績等から必要額を算出することに見直しました。また、三重県建設技術センターについては、県職員の役員：理事への就任は行わないこととしました。加えて、三重県観光連盟については、事務局長を県職員から民間へ交代するなど、県職員だけでなく民間からの人材活用に努めています。

三重県職員給与について

Q [質問]

三重県職員の給与削減について、三重県では平成30年度・令和元年度と2年間続けて総人件費を削減してきております。令和3年度以降における特別条例による管理職の給料減額措置を来年度以降も継続されるお考えでしょうか。

A [答弁]

現在、県の財政健全化に注力している中、より一層の歳出抑制に取り組む姿勢が求められている中で、特別職や管理職が自ら身を切り、財政健全化の強い決意と姿勢を示すため、毎年度、その時々々の社会経済情勢等、総合的な判断を行う中で、平成29年度から令和2年度まで管理職の給料の減額措置を実施してまいりました。来年度の対応については、現時点において、どうするかについては決まっていません。

Q [質問]

今後、毎年春に原則一律昇給する方式を見直し、人事評価に連動して昇給額を決めるような新たな人事制度を導入し、県職員の働く意欲を高めるといったことが必要と考えますが、いかがでしょうか。

A [答弁]

一般職員については「県職員育成支援のための人事評価制度」として、管理職員については「管理職員勤務評定制」として人事評価制度を実施しており、その評価結果により、昇給号給数やボーナスの成績率を決定しています。今後も、職員アンケートなどにより、職員が意欲を持って働けるよう適切な人事管理や給与制度の運用をしてまいります。

Q [質問]

今後の県として、優秀で多様な人材の確保についてのお考えを聞かせていただきたい。

A [答弁]

県職員の採用試験においては、海外での活動経験や民間企業での経験、社会貢献活動など、自身の培った能力や実績をアピールする人物重視の試験区分：行政Ⅱを設け、特定の分野に偏らない幅広い人材の確保に取り組んでいます。また、民間事業者からも人材を受け入れるなど、県が抱える特定課題の解決に民間企業のノウハウ等を活用しています。

S [総括]

質疑を通じ、給料減額という形で県自らのぜい肉を4年間も削り、更に県外郭団体もスリム化し、県庁組織の筋肉質化が図られている。今後も高付加価値創出型の県庁組織に挑戦し、より質の高い県民サービスの提供を期待したい。私も県議会議員として、その一翼を担ってまいります。

① 三重県保健環境研究所（四日市市）



保健環境研究所では、地域における科学的、技術的中核機関として、新型コロナウイルスの感染患者を把握するためのPCR検査を実施しており、検査体制の状況などについて調査しました。

② 地方独立行政法人三重県立総合医療センター（四日市市）

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が公立・公的医療機関等の経営に大きな影響を与えていることから、地域医療提供体制の確保に向けて、現状の課題や今後の公立・公的医療機関等が担う役割の変化などについて調査しました。



① 岡山県議会（岡山県岡山市）

障がい者の自立を目指すうえで重要な課題となる工賃の向上を図るため、就労継続支援B型事業所と連携し、企業や官公庁の執務室等にBOXを設置し、製造したお菓子を無人販売する「おかしBOX事業」の取組状況等について調査しました。



② 岡山市議会（岡山県岡山市）

岡山市では、令和元年度からSIBを活用した健康ポイント事業として、35歳以上の市民及び在勤者を対象に運動、栄養・食生活、社会参加の活動によりポイントが付与される「おかやまケンコー大作戦」を実施しており、健康寿命延伸に向けた取組状況等について調査しました。



③ 広島県議会（広島県広島市）

誰もが安心して妊娠・出産・子育てができるよう、身近な場所で見守り、サポートする体制を県内全域に広げていくことを目指していく「ひろしま版ネウボラ」の構築に向けたモデル事業の実施状況等について調査しました。

また、待機児童解消など、保育環境充実に向けた取組状況等について調査を行うとともに、広島県と広島銀行が広島県庁内に共同で設置した事業所内保育施設「イクちゃんち」についても、現地調査を行いました。



さる9月11日、県議会自由民主党県議団有志により、伊賀市にある産業廃棄物処理場、大栄環境グループ「三重中央開発株式会社」を訪問した。

そこで、最新鋭の廃棄物処理装置や、リサイクル設備、焼却熱の再利用システムなど、現地調査を実施した。



三重県議会での経歴

2019年

三重県議会議員1期

- 常任委員会：防災県土整備企業常任委員会 委員
- 特別委員会：予算決算委員会・広聴広報特別委員会
- 四日市港管理組合 議会 議員

2020年

- 常任委員会：医療保健子ども福祉病院常任委員会 委員
- 特別委員会：差別解消を目指す特別委員会 副委員長
予算決算委員会・広聴広報特別委員会
- 四日市港管理組合 議会 議員



防災みえ.jp (<http://www.bosaimie.jp/>) にて災害状況がご覧になれます。

